



令和3年度冬期環境家計簿モニター

モニターさんの声

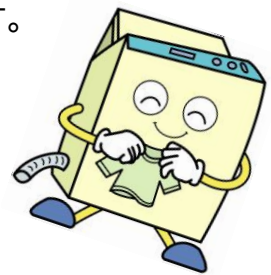
この度は令和3年度冬期環境家計簿モニターにご参加いただき、ありがとうございました。

今冬、関東地方は昨年に比べると全体的に気温が低く、一部急激に気温が下がった時期もあり、省エネが難しかったのではないのでしょうか。リモートワークや、外出自粛など、家で過ごす時間が増え、電気やガスの使い方も大きく変化し、その中での使用量削減は大変だったと思います。

過去に環境家計簿モニターに参加された方は、振り返り分析することで次への取組に繋げているようです。これからも無理せず、体調第一で省エネを実践していきましょう。

皆さんからいただいた省エネへの取組方法や課題などをご紹介します。

今後の参考として、ご一読ください。



《青りんご》

暖房器具を電気（エアコン）だけにした。設定は最低16℃でも電気の使用料が大幅に増えた。その分ガスの使用、風呂などをなるべく追い焚きを少なくし、CO₂削減に努力。家計簿だけでなく、ごみ減量に努力。生ゴミは全部コンポストで肥料にし、プラ容器のものを買うのを減らす努力をした。それでもプラゴミは週1回300gぐらいになる。
★キャンディーの袋で、紙（紙使用量50%以上）、インクの一部を植物由来原料を使用しているものがあった。

《モンデオ》

全ての月で昨年より消費量を削減した。原因としては昨年よりコロナによる自粛が若干減り、外出時間が増えたことだと考える。省エネの項目が減り無駄な電灯のチェック、お風呂はなるべく時間を経ずに入浴、食器を洗うのはなるべく低温のお湯にするなど細々したものしか実施できなかったと思う。

《キタマチフジ》

エネファームのリモコン（台所リモコン）に表示される使用電力量を日常的に確認し、節電に留意しているが、例年より寒さが厳しかった今冬、家族の体調管理もあり、暖房（ガス）が優先され、省エネはかけ声のみで、使用ガス料金が昨年比大幅増となってしまった。

《かんちゃん》

・電球はLEDへ、冷蔵庫、エアコンを昨年省エネ商品に買い替え、来客時以外暖房は、居間のみとし、風呂の追い焚きをせずに、料理も手早くするよう心がけたが、結果はいまいちだった。
・巣ごもりで家にいる時間が長く、2階は太陽が当たればサンルームで過ごしましたが、効果はわずか。来年は、何か新しいことに挑戦し、成果を上げたい。

《おっちゃん》

電気のエアコン暖房を使うところをガスの床暖や風呂になった。少し去年よりは底冷えがきつい気がする。風呂は自動で長時間そのままにしていたのを効率よく入浴しガスを切るようにした。

昨年と比較して電気もガスも使用量は多少の凸凹はあるものの変わってない。やはりガスの方が使っている。但し、電気もガスも単価が上がって来ているようだ。



《まさ》

電気使用量が、12月～2月において、毎月50kwh減っているのは、LED蛍光灯に2か所変えた効果だと思う。

《C.T》

ガスファンヒーターを使用するようになったらガス代がとても高くなった。

《KAIYO》

・使用量に関し、電気、ガスとも対前年度比較し（電気+18KW・ガス-1 m³）僅かな変動となり、但し料金に関し、（電気+5.305（24%）、ガス+3.505（20%）と）大幅なアップとなった、原因としてはいずれも料金値上げの結果と考える。

・シーズンとして今冬の特徴として寒さが何時になく強く、また天候も曇天が多く、暖房の使用、風呂温度の1～2温度高め、その上「新型コロナウイルス」の感染拡大の為「巣ごもり」が多く、条件として使用量のアップに繋がる要因が多い期間であった。

12月～2月の平均気温

